

26期 岡田美乃利君との思い出

2023年9月
23期 常任幹事 畑地 豊

かねてから体調を崩しておられるとお聞きしていましたが、それからさほど日にちが経たない頃再度「特別治療室」で加療中であると事務局から報告を頂いた。
それからそれほど長くない2023年8月上旬に訃報に接したのであった。



在りし日の岡田美乃利 君
(2018年 5月撮影)



在学中は私が4年生の時入学してこられたので、1年間は同窓の接近をしていたことになる。学校内では残念ながら会話を交わした記憶が無いので、多分すれ違いに終わっていたのであろうか！



在りし日の学び舎（大阪府立北野高等学校）

1

プロローグ

私が北辰会活動に初めて出席させて頂いたのが2017年4月である。その時彼は既に26期常任幹事として活発な活動をされていたようである。また同時にホームページにも積極的に投稿されておられる。

彼が投稿された作品に接して出身地が「富山県」であることを知った。急に勝手に親近感を覚えたものである。不肖私も勤務の関係で大阪から本社所在地である石川県金沢市内に移住して延べ15年間ほど住んでいたのである。北陸、雪のある生活、日本海、数え上げるときりがなほど共通点がある。

2

「富山弁」で接近する

北辰会幹事会の会議や会合の都度、言葉を交わすようになっていた。パソコンで富山弁を調べてひと言ふた言、会話に挟んだことも有った。冷やかしても無く親近感の心算で有ったのであるが、そんなにわか仕立ての富山弁がまともにしゃべれるはずが無い。しかし彼は嫌な顔をしないで柔和に対応してくれたのである。



彼が注力していた富山県「水橋橋祭り」での花火打ち上げ光景
(ネットから借用)

23期の Kimi Orr さんはアメリカ在住で北辰会への登場もごく最近と申せましょう。その後積極的に多くの投稿を寄せて頂いております。有る時、岡田君から「いつかKimiさんが来日されたら、是非ともお会いする機会を頂きたい！」と常日頃から相談を受けていました。そうすると何ということでしょうかそれから間もなくすると、彼女が来日することになったのです。

「以心伝心」こんな事って有るんや！ 23期の諸氏との「歓迎食事会」には、いの一番に彼の出席を決めたのでした。



— 岡田メモより抜粋 —



「北辰会報」を何回か読んでいるうちに畑地さん投稿の記事を通じて、
アメリカ在住の同窓生・Kimi さんの存在が気になりました。
2時間や3時間では行けない遠い遠いアメリカへ渡り、そこで生活し、
しかも学校の先生をしておられる。親戚も友人・知人もいない異国の地で
堂々と生活している Kimi さんは、どのような豪傑な女性の方だろうと。



2022.06.11 KIMI さん歓迎食事会にて
後列 中央が岡田さん

そして更に驚くことが発生した。生まれ故郷富山から関西は西宮市に引っ越しを敢行して永住を決意したというではないか。

聞き及ぶには大きな屋敷内には相応の立派な「お茶室」を設えて有ることである。奥の深い趣味をお持ちであることもさることながら、私にとっては羨ましい環境を離れてしまうなんて！と試してみたことも有るが、後に彼からその決意のほどを聞いて、人それぞれの選択肢に感服したものであった。

そしてここにも、また彼との接点が存在していたのである。

私が定年まで勤務した会社は本社所在地が金沢市内であることは先に述べたがそして関西地区の営業本部が兵庫県西宮市内に存在するのである。勤務の関係からこの西宮市内でも延べ15年ほど生活していたのである。



西宮市内・夙川河川敷緑地（夙川公園）/ネットから借用

彼から市内を歩いていると方角が分からなくなったり、道を良く間違えることがある。目的と反対方向に向かっていったことも有る。何度歩いても迷うことが有り分かりづらいところだと聞いたことが有った。

西宮や大阪、神戸の地理は任しといて、そのうち方角や道路の愛称やら地理の覚え方ノウハウを伝授するよ！ と言っていたのであるが今はもうそれも果たせなくなってしまった。

5

エピローグ

西宮市には、富山からは貴君の実姉さんもお運びになっておられ、じっくりと貴君のこと色々とお話しして頂きました。自慢の弟さんで有られたご様子や富山・水橋でのご活躍の様子などつぶさに細かくお聞きしました。お姉さまの弟に対する愛情の深さをしみじみと感じ取りました。

多くの佳きお方達に見守られながら旅立たれました。



北辰会ホームページへの同君の投稿作品 (紹介)

- ① 2016.09.16 スイス・アルプス3大名峰と氷河特急の旅
- ② 2018.10.28 「水橋橋まつり150年祭」を終えて
- ③ 2018.11.10 水道橋まつりNo.3、、(以下省略)、、
- ④ 2022.07.13 引っ越し前最後の茶会
- ⑤ 2021.08.01 「北辰会報」第27号を手にして
- ⑥ 2022.02.22 最近読んで勇気・元気をもらった本「白秋期」
- ⑦ 2022.07.10 アメリカ在住KIMI ORR さん来日：Welcome特集号(寄稿文)